

Densho Bato

でんしょ鳩



公益社団法人
北九州市障害福祉ボランティア協会
〒804-0067
北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた6階
北九州市立東部障害者福祉会館内
TEL 093-882-6770 FAX 882-6771
E-mail:XLZ02133@nifty.ne.jp
URL:http://www.ksvk.jp/
◇郵便局振替口座/福岡 01740-4-8846
◇福岡銀行 戸畑支店 普通口座/2130527
公益社団法人北九州市障害福祉ボランティア協会

◇「第37回 定期総会を終えて」 2~3P

北九州市障害福祉ボランティア協会
常務理事 竹田 英樹

◆あつたらイイね!こんなトコ 4P
「京寿司 門司店」

◇ボランティア物語 95 5P **好評連載中!!**
『沖縄旅日記 2』 宮崎 浩

◆福祉のまちづくり
ネットワークプロジェクト リレーレポート⑤ 5P
福岡県脊髄損傷者連合会
北九州支部長 宮岡 健

◇MYフレンド 6P
北九州市障害福祉ボランティア協会
理事 柴田 泰博

◆ボランティア活動募集とお知らせ 7P

◇協会カレンダー 8P



座標軸

窓の外を眺めていましたら、すぐ近くの空に地に新築住宅が建設されているところが目に入りました。重機が入り整地された土地に基礎工事が始まったのが少し前で、あれよあれよと云う間に建物が建ちあがり、今では家の中や外回りの工事が進んでいます。

目に入るのは建物ばかりではなく、工事に携わっている職人の仕事ぶりです。一人の人がすべてをこなすのではなく、工程に沿ってそれぞれの仕事を黙々とこなしていました。職人(=専門職)の仕事とはこのようなものなんだと感心させられました。

最近、人への支援をする際に、協働、連携、チームワーク、更には、フォーマル、インフォーマルの協力と繋がるあり方をよく目や耳にします。人への支援は形だけで可能になる訳でもありません。それぞれ協力し合わなければ出来ないものです。

では、協力し合うとはどういうものなのでしょうか。

私たちボランティアは仕組みに組み込まれることを望んでいるわけではありません。協力者としての役割はどうかあればよいのかを考えなければいけないように思います。

職人までにはならなくても様々な「協力をし合える関係」をもちたいものです。(K.O.)

第37回定期総会を終えて

「思い込み・無理解・偏見」啓発冊子研修会



平成30年5月12日(土)に北九州市立東部障害者福祉会館研修室にて第37回定期総会が開催されました。

今村理事の司会で総会の開会が宣言され、続いて会員の中村紀美子さんがボランティア協会の基本理念を朗読しました。

次に岡田理事長から「国は1億総活躍社会を目指します」と言う響きの良いスローガンを掲げ、厚生労働省が介護保険事業に介護支援ボランティア制度という有償ボランティア制度を導入しました。最近ではボランティア活動がわかりにくくなっているように感じます。ボランティア協会は、障害があるなしに関わらず、みんなでボランティア活動に取り組んでいる

団体です。ボランティア活動について総会でもいろいろな意見を出して頂き、今年度もがんばっていきましょう」とあいさつがあり、その後、議長選出に入りました。

議長には、橋本博行さんを選任して、議事に入りました。総会成立の定数を確保後、議事録署名人に個人会員の佐田道代さんと団体会員の「北九州盲ろう者支援サークルひまわり」の河部さよ子さんが選任されました。

〈1部総会〉

【平成29年度事業報告】
竹田常務理事が、4つの重点事業を中心に報告を行いました。その中でも二

ズが高まってきたというIT支援について、29年度は全国の実施状況の調査やシンポジウムの開催のための準備会をたちあげたことが報告され、更に、啓発活動として障害別の事例を教材

用にまとめた冊子の作成や「障害あるある川柳」を広く公募してコンテストとして実施した成果が紹介されました。

また中長期計画の見直しを行い、時代のニーズに合わせた計画となるよう精査したことで、更に財源確保のための計画を追加項目としたとの報告がありました。

【平成29年度決算報告】
古賀副理事長より、平成29年度収支決算について詳細な報告があり、収入につ

いては、会費や委託料など100%に近い達成率だったが、寄付金だけが70%に留まったことが報告されました。支出については、予算通りの執行を心がけた結果、全体の収支差額は約38万円です。黒字決算となったことが報告されました。また、役員報酬の支給については、年間60万円を支出した旨の報告がありました。



【平成29年度監査報告】

羽地監事より、4月24日に監査を行い、正確に処理しており過誤のない旨の報告がありました。

〈質疑〉

会員からパソコンサポートの派遣件数が28年度より減少している理由およびIT支援の方向性について質問があり、常務理事よりパソコンサポート派遣については重度の障害者支援のために28年度は2人のサポートを派遣をしていたが29年度は派遣が終了したため減少したこと、IT支援については30年度に全国のIT支援状況調査をする予定なので、調査結果を検討した上で方向性を出す予定であるとの回答がありました。

また、副理事長には役員報酬が出ているが、常務理事には出していない理由について質問があり、常務理事は事務局長を兼務していることで、職員給与が支給されているためであると回答がありました。これらの質疑の後、全員一致で決算報告・事業報告等を承認可決しました。

【平成30年度事業計画】

竹田常務理事より平成30年度の事業方針・事業計画について説明がありました。特に重点事業の「IT支援を通じた障害者社会

参加の推進」、「防災をテーマにした地域での啓発活動」を会員全体で取り組む事業として位置づけることや、今後削減される補助金等に代わる財源を確保するための行動計画作成について説明がありました。

【平成30年度予算】

古賀副理事長より、平成30年度収支予算案について説明がありました。基本的には29年度決算額を踏まえているが、収入については29年度と比較してJR研修委託費が15%減、補助金収入の「ひまわり基金」が20%減となることから、支出についてもそれに合わせて極力抑えていること、不足分を会費や寄付金などでカバーすることで30年度は予定通り

の説明がありました。次に、非常勤の副理事長に役員報酬を支給することの説明があり、最後に公益目的事業別の予算額を確認しました。

なお、「ひまわり基金」については32年度に100%の減額になるため、32年度以降は運営が厳しくなることが補足説明されました。

〈質疑〉

2年後の「ひまわり基金」の補助金廃止に向けて、財源を新たに確保していくのか、事業を縮小していくのか、どちらなのかとの質問に副理事長より、今後は新たに財源確保をしていきたい、いろいろな方法を30年度中に検討していくとの回答がありました。また、会員団体から正会員団体交流会を実施するにあたっては、日程調整を早めに行つて、参加しやすい状況にしてほしいとの要望がありました。

これらの質疑の後、原案のとおり全員一致で予算案、事業計画等を承認可決しました。

〈2部研修会〉

「思い込み・無理解・偏見 啓発冊子模擬講座」

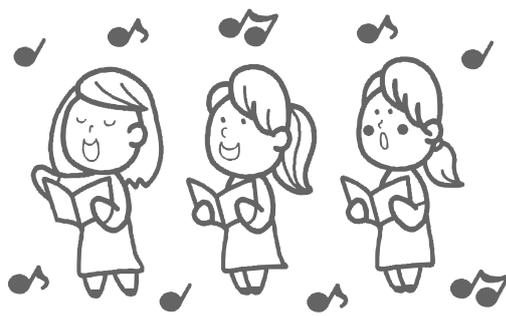
竹田常務理事と宮崎理事が進行を担当し、今回作成した教材用啓発冊子を使った模擬福祉講座を全員参加で実施し、今後の出前講座での活用方法について確認しました。



「思い込み・無理解・偏見」の事例寸劇では、俳優並みの演技が披露され拍

手喝さいがおきていました。最後に岡田理事長から事例クイズ優勝グループに賞品授与がされました。

最後のプログラムとして、ボラ協のテーマソング「風をください」を、会員の永松玲子さんのリードボーカルのもと職員がバックコーラスを担当し、参加者全員で大合唱しました。



その後、古賀副理事長の閉会の辞により、第37回定期総会を終了しました。(常務理事 竹田 英樹)

（常務理事 竹田 英樹）

〈総会に参加して〉

5月はいろいろな団体で総会の季節。ボラ協でも2500万円余りの予算の使い道に、集まった30人程の会員はそれは熱心に頭をひねった。地域防災やIT支援など新たな取組を進めようとする中で3年後には補助金が大きく減るといふ。収入をどうやって補うのか、それとも事業を減らすのか、会員としてどのようにボラ協の事業にかかわっていくのかをこれからは皆で二層具体的に考えていかないとならなくなりそうだ。

総会に続いて研修会。前号のでんしょ鳩で紹介した出来立ての啓発冊子が登場。実際の研修に活用されるとどんな感じになるのか、寸劇で行うモデル研修をやってみた。果たして大いに盛り上がる。活用に向けての支援の充実は不可欠だが、今後が楽しみだ。(常任委員 土谷瑞彦)

（常任委員 土谷瑞彦）



車場への坂が厳しいという人には迂回路もあります。

あつたらイね! こんなトコ

今回ご紹介するのは「京寿司 門司店」です。いつも新鮮なネタがあり、昼も夜も行列ができる人気店です。車いす使用の岩井菜穂美さんがレポートしました。

以下、岩井さんの感想です。

★店舗はビルの2階にあります。駐車場への坂を登ると階段を使わず

ビルの入口まではスロープがあるので簡単に入ることができます。そこからお店の入口に向かうまでの通路にはベンチが並んでいます。もし、順番待ちのお客様が座っていたら車いすで通るときは少し気を付けたほうがいいでしょう。

店内に入るとテーブル席とカウンター席があります。



テーブル席のほうが落ち着いて食べられると思いきや、カウンター席のほうがお寿司も取りやすいし、タッチパネルにない「今日のおすすめメニュー」を板前さんに直接頼めるので、私はカウンター

席が好きです。

わさびが苦手な人も、わさび抜きが選べるので安心して食べられます。

店員さん達も普通に接してくれるので、そこがまた嬉しいですね。

「味は、太鼓判!! 外れはないです!! 炙りが結構美味しいですよ!!」

京寿司は門司の他にも何店舗かありますが、私は行きつけの門司店が大好きです!

ぜひ、皆さんも一度食べに行ってみてください★

お店からのコメント

地域の皆さんに愛されるようにいつも新しいものを入れ、新しい状態を出してお客様に喜んでいただければと思っています。視覚障害者の方が一人で来られても大丈夫です。

おうちでゆっくり「京寿司」を堪能したい方には宅配・お持ち帰りもご用意しておりますのでご利用ください。

店舗

北九州市門司区東新町1-1-1 タカフジビル 2F
 電話 093-372-7890
 [月~金] 11:00~15:00、17:00~22:00
 [土・日・祝] 11:00~22:00



宅配・テイクアウト専用

北九州市門司区東新町1-1-1 タカフジビル 1F
 電話 0120-94-7499 10:00~21:00 (配送11:00~)
 配達地域/門司地区限定(※一部地域を除く)
 ※エリア外の方でもテイクアウト注文可能



お知らせ **見えない・見えにくい人のための福祉機器展 in 北九州**

●日程/6月24日(日) 10時~16時 ●開催場所/北九州市立西部障害者福祉会館

広告

SKC 会計グループ
税理士法人 SKC
 税務代理業務 ・ 税務相談業務 **グループ会社**

〒804-0003 北九州市戸畑区中原新町3番3号
 TEL. 093-482-5588 / FAX. 093-482-5566
 http://www.skc-tax.or.jp/

株式会社さかい経営センター 株式会社SKC計算センター
 一般社団法人 相続・贈与相談センター北九州

宮崎浩さんは、当ボランティア協会の理事です。
このコラムは、宮崎さんの体験を通した思いをつづったものです。

ボランティア物語

-95-

沖縄旅日記②

宮崎 浩

沖縄さすらいの旅。パート②。
丘の上にあるキャンプ場にテントを張った。ここは、眺望が抜群で、ふもとの街並みに広がる米軍基地も見渡せた。

しかし、高台のせい、夜から冷え込み、ありったけの服を着込んで寝袋にくるまっていた。眠れない夜。まどろみながら、変な夢ばかりが浮かんできた。

それは、北九州市に米軍基地があるという話。
到津から大蔵までの旧電車通りの直線道路が、滑走路となっていて、戦闘機が、爆音を轟かせ離発着していた。

「こんな住宅地の真ん中に基地があるのは、どういうことか」
僕は、大勢の地域住民と一緒に基地反対運動をしていた。

すると、ある日、国からこんな提案があった。
「若松の響灘沖を埋め立てて、ここに米軍基地を移転させよう。」

う。周りは海。住宅も少ない。地域振興の交付金も、しっかり付けてあげるから」

この案に対して、住民の間で賛否が割れ、争いまで起こった。僕は、呆然と立ちすくんでいた。

と、夢はここまでで目が覚めた。そもそも沖縄に行こうと決めたのは、米軍基地に関しての報道が流れても実感がわかず、何だかもどかしく感じていた。

だから、普天間、辺野古。この街の風に触れてみたかった。また、かつて学生運動していたという飲み友達が、沖縄を熱く語っていたので、さらに興味を抱いたのかもしれない。

といっても、彼の思想観に感化されている訳でもなく、賛成、反対の旗を挙げるには、知識が足りない過ぎる。どっちつかず、まるで夢の中の僕だ。

でも、今回の旅で少し悟った。ボランティアであればこそ。平和に無関心ではいけない。権力に無抵抗ではいけない。人生に無気力ではいけない。

上空、オスプレイが飛んで行った。僕に何ができるのだろう。

福祉のまちづくり ネットワークプロジェクト

(リレーレポート⑤)

何気ない行動が

福岡県脊髄損傷者連合会

北九州支部長 宮岡 健

何気ない行動で、色々と感じる事があり、する側される側でも感謝や喜び、または嫌いな気持ちと様々です。生活の中のルールやマナー、モラルを守ることがいかに大事か分かっている方たちは、どれぐらいいるのだろうか、自分の事は棚に置き考えたりします。

最近よく遭遇する事ですが、自家用車での乗り降り時に、「何か手伝いましょうか」と声をかけて頂きます。有難うございますと感謝の気持ちで最高の笑顔で伝え返しますが、停めるスペースが無い時、困り顔で辺りを見回していると身障者駐車場やパーキングパーミットの不正使用が目につきます。特に休日や大型連休の家族連れの親の言葉や行動にも参りました。

身障者駐車スペースに停めて

下車した家族の会話で、小学生の子どもが「お父さん、ここに停めていいの」との問いかけに「お母さんが、障害者みたいなものやから」と。

子どもは何度も振り返り、母親はバツが悪そうにうつむいたまま、小走りで遠い方の出入り口から店舗に入って行きました。

多目的トイレ内で遊んでいる子どもたちに注意していた時、様子を伺いに来た保護者に逆ギレされた事もあります。

学校教育等で学んできても、福祉や障害に理解がない方が、ルールやマナーを自分に有利な解釈度によつて都合よく変えている事に遭遇します。

私はよく商業施設マネージャーや警備担当主任に問い掛けをしますが、「...その人達のモラルや意識の問題ですね」との二言しか返答をもらえてないです。

モラルは、ルールやマナーのよな決め事ではなくルールやマナーを守る「心」だと私は思っています。

広告

明るく・元気に・前向きに!困ったときはお互い様

業務内容

資料の電子化・データ処理・ホームページ作成・アクセシビリティ検証・企画・デザイン・印刷各種・各種コピー・大型カラー出力・安全標識作成

障害者と共に生き活きと働ける職場づくりを実現するため、日々頑張っています!



三菱ケミカル株100%出資特例子会社
化成ボランティアサービス株式会社
〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石1-1
TEL093-643-4390 FAX093-643-4393
<http://kfs.mc.co.jp>



—ボラ協との関わりは—

ボラ協の活動は理事という立場です。設立当初は、ふれあい講演会の企画に携わりました。今振り返ったら結構「時の人」に話をしてもらったと思います。実はボラ協誕生以前に障害者やボランティアに関する活動を、古賀さん、竹田さん達としていました。

—具体的な活動は—

一九七七年、いくつかの障害者団体で「北九州市福祉の風土づくりを進める会」を結成し、合同事務所で障害者とボランティアをコーディネートする需給調整の活動を始めました。「街に出よう運動」という障害者とボランティアが一緒に出かける活動もしました。ボラ協の今に繋がる活動だったと

思っています。

—仕事は—

今年三月で完全にフリーになりました。三十六年間北九州市立総合療育センター(前身は足立学園)のMSW(医療ソーシャルワーカー)でした。MSWの先輩が家庭の事情で退職することになり、そのあとを引き継ぎ

柴田 泰博さん



北九州市障害福祉ボランティア協会理事

—今は全く何も?—

八年前から北九州市身体障害者福祉協会の役員をしています。二期目は理事でしたが、二期目からは理事長の役職です。非常勤勤務で日々の業務はなく、対

外的な仕事がほとんどです。「目安箱」を設置しており、寄せられた意見や要望を検討したり、苦情の場

合は第三者の立場である弁護士等の意見も聞いて対応しています。北九州市身体障害者福祉協会は全国組織である「日本身体障害者団体連合会」に所属してい

ます。そのため、全国大会や九州ブロック

の大会、研修会に参加します。輪番制で回ってくるので、当番

になった年は受入れ準備をします。数年前には、九州ブロック大会を開催しました。また地方と政令市では障害者を取り巻く課題が異なり、全国の政令市二十団体が構成する組織で都市部の障害者問題に特化

した話し合いを行っていません。今課題となっているのは「災害時の対応」と「六十五

歳問題」です。視覚と聴覚の障害者は災害時情報を取りにくいという大きな問題があり、体制作りが必要です。また障害者が介護保険の対象年齢になった時、介護保険と障害者支援者が連携し、スムーズに移行でき

—趣味は—

車に乗ることです。家でじっとしているのは好きないので一人で近場に出かけます。スーパー銭湯に行くのも好きです。夢は妻と一緒にSUV車(スポーツ用多目的車)で北海道を旅行することです。六月に妻と娘・孫とハワイに行きます。水入らずの旅行を楽しみにしています。

聞き手 森山 幸恵

広告

介護サービスの相談・サービス事業所との連絡調整・要介護認定の代行申請も行います。



- デイサービス
- ケアプラン作成
- 訪問看護
- グループホーム
- 訪問介護
- 在宅介護無料相談
- 訪問リハビリ



- 介護付有料老人ホーム



株式会社 シダー http://www.cedar-web.com

〒802-0026 北九州市小倉北区大島1-7-19
TEL 093-513-7855 FAX 093-513-7858

JASDAQ Listed Company 2435

ボランティア募集とお知らせ

元気なお兄さん お姉さんを募集

■障害児の長期休暇対策事業

北九州市内の特別支援学校の生徒を対象に「サマースクール」が実施されます。障害のある子どもたち、夏の思い出をつくりませんか?映画館を貸し切りにして映画を見たり、プールで遊んだり、楽しい企画が盛りだくさんです!

●日 程 7月下旬~8月末日の中のイベント開催日
(一日だけの参加でも大歓迎!)

●開催場所

- ・シネプレックス小倉
- ・ユナイテッド シネマなかま
- ・北九州市障害者スポーツセンターアレアス など

●事前研修

7月15日(日)、もしくは個別対応

夏の講座のお知らせ!!

★ボランティア体験講座★ (たのしく福祉を学ぼう)

※クイズをしながら、たのしく福祉のことを学びます。車いす介助体験もあります。

●日 程 平成30年7月15日(日)

●時 間 13時00分~15時30分

●開催場所

北九州市立東部障害者福祉会館

※サマースクール参加のボランティアは必ずご参加ください。

お問合せ、お申し込みはお気軽に事務局まで! 電話 093-882-6770 (共通)

わっしょい百万夏まつり 「ふれあい広場」の お手伝い募集!!

「障害があっても、おまつりを楽しみたい!」そんな願いから、障害のある人もない人も、ともに参加して楽しめる「ふれあい広場」が今年も開催されます。運営のお手伝いをして下さる方を募集します。

●日程・時間

夏まつりは4日、5日(2日間)

8月4日(土) 15時~21時
(今年のボラ協出店は4日のみ)

●活動場所

北九州市役所東側駐車場

※詳細は別途チラシをご覧ください。



国際車いすバスケット大会 会場運営ボラ大募集

■第15回北九州チャンピオンズカップ 国際車いすバスケットボール大会開催

11月16日(金)から18日(日)まで開催される国際大会にて一緒に会場運営をして下さる方を募集します。1日だけの活動参加でも大歓迎です。事前研修もあるのでボランティア活動が初めての方でも安心して参加できます。

よりよい大会運営のためにぜひご協力をお願いします!!

●開催場所

北九州市立総合体育館

●募集期間(定員になり次第締切)

7月10日(火)~8月31日(金)



広告



リフォームで、より快適な住まい作りを提案します。

株式会社タウン・リフォームセンター



あなたの町の大工やさん



見積り 0円!!
お気軽にご相談下さい

0120-969-498

TEL 093-541-1860

24時間 FAX 受付 土・日・祭日も営業中 FAX 093-541-2086

〒802-0018 北九州市小倉北区中津口1-6-4-1F

ご協力・ご提供ありがとうございました。(敬称略)

○ご寄付(公益社団法人への寄付は、寄付控除の対象となります)

大友征子 蔵内綾子 古賀由美子 杉森美紀子

(有)コア (有)仁徳海運

○使用済み切手・テレカ・ハガキなど

大木克孝 大曲千代子 加地秀子 高橋朱美

竹内隆夫

曹洞宗興禪寺 (株)西日本電波研究所

生き方のデザイン研究所 八幡西区社会福祉協議会

北九州市障害者基幹相談支援センター

北九州要約筆記サークル月曜会

○バザー品

大石恵子 松尾清美 森 聖子



事務局からのお知らせ Facebook 絶賛更新中!!

ボラ協ではイベントや講座の情報、事務局の日常風景をFacebookにアップしています。

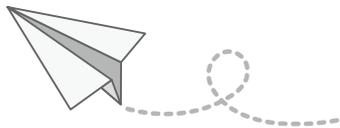


E-mail : XLZ02133@nifty.ne.jp

会員さんからの「この写真をボラ協のFacebookに載せて!」などの情報もお待ちしております。

メールアドレスに写真とFacebookに掲載可能なお名前を記入してメールを送信してください。

あなたもボラ協のFacebookに参加してみませんか?



あそびに来てね!!

今年もわっしょい百万夏まつりでは、障害のある人もない人も、ともに参加して楽しめる「ふれあい広場」が開催されます。ボラ協は毎年恒例リサイクルバザーを出店します。

みなさんもぜひ掘り出し物を探しに来てください。

●日時/8月4日(土) 15時~21時

●場所/北九州市役所東側駐車場

※同時にリサイクルバザーの品物も募集中で~す!



詳しくは事務局まで 093-882-6770

協会カレンダー

6月	7月	8月
1日(金) 北九州市手をつなぐ育成会第40回総会(竹田)	1日(日) 第25回ふうせんバレーボール北九州大会(後援事業)	4日(土) わっしょい百万夏まつり「ふれあい広場」
2日(土) 障害福祉団体連絡協議会第21回定期総会	11日(水) 常任委員会	10日(金) 音訳・点訳ボランティア養成講座
7日(木) JR九州社員カスターマーサポート研修開始(全12回)	13日(金) 障害者の余暇活動支援者連絡会	15日(水) 会報第218号発行
14日(木) 障害福祉団体連絡協議会常任委員会	15日(日) 東部障害者福祉会館ボランティア入門講座(共催事業)	
15日(金) 九州北部税理士会助成金贈呈式(竹田・川上)	22日(日) デフ・パペットシアター(後援事業)	
27日(水) 中間支援組織連絡会(竹田)	25日(水) 福祉のまちづくりネットワークプロジェクト定例会	
	26日(木) 障害福祉団体連絡協議会常任委員会	